

<グループホーム遊牧舎>

・グループホーム遊牧舎は、通常通り運営しております。

当法人のグループホームは、ひとり一部屋のアパートタイプ、サテライト型での運営のため、個別に対しての様々な生活支援が可能です。また、各居室で食事をとることが可能なので、当面の間、集団で食事をする夕食会は中止し、グループホームの職員が、各居室に出向く（アウトリーチ）支援を行います。入居者の自宅へ訪問を行う場合、介助を行う場合は、2メートルの距離をあけること等は不可能ですが、人との距離をとるために、生活に大きな支障きたさない範囲で、頻度と時間の縮小や、訪問に代わる電話での近況確認を行います。

・入居者には、支援方法の変更において協力を得ると共に、不要不急の外出をしないなど、日々の過ごし方についてステイホームは守っていただき、訪問者の受け入れはしない協力を文書で通知しております。

<委託事業>

○江戸川区精神障害者自立生活体験事業

地域移行の対象者など、入院中の方は病院から出ることができないのでキャンセルが出ておりますが、地域の方には変わらずニーズは高く、通常通り稼働しています。

感染防止のため、ショートステイ利用前にこちらから注意書きを作成し、ショートステイ利用中は、不要不急の外出を避けて欲しい事、不要不急の訪問者を受けない事を伝えております。

また、利用中の朝夕の検温実施、調理については、自身で行うかこちらで代わりに行うかにし、接触が近くなる様な見守りの支援は避けるとしてしています。受け入れや振り返り時の面談は、事前に布団セットなど行い、15分～40分の時間の中で行う様にします。

○江戸川区居宅生活安定化支援事業

江戸川区の生活援護課に出向して業務を行っておりますが、緊急事態宣言を受け、働き方について生活援護課と調整をしております。通常通り、利用者支援と必要な調整、連絡対応は行いますが、利用者の方に事務所へ来所していただくような面談は緊急性の高いもの以外は控え、連休後に再調整致します。利用者のご自宅へ伺う訪問業務は通常通り行います。

○江戸川区精神障害者安定化支援事業

相談支援センターくらふと を拠点に、未受診の方やひきこもりの方へ支援を行っている事業です。新型コロナ感染拡大の防止策が講じられましたが、私たちが対象としている方は、医療や生活支援が十分に行き渡っていない方が多く、私たちの支援がストップすることは、新型コロナに等しく脅威ととらえています。マスク着用、ソーシャルディスタンス等、感染リスクを低減するための対策を十分にしながら、普段通りの訪問や同行による支援を行っています。今後、周囲のサービス提供事業所が休業する等でサービスが十分に行き渡らない